



## 取付説明書

7型後席用モニター

# E704RM

取り付けおよび接続を行う前に、必ずこの説明書をよくお読みのうえ、正しく作業を行ってください。指定以外の取付方法や指定以外の部品を使用すると、事故やケガの原因となる場合があります。本機の実装には、専門技術と経験が必要です。お買い上げの販売店での取り付けをお勧めします。「取付説明書」、「取扱説明書」をお読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

販売店様へ

取り付け、接続作業が完了しましたら、この取付説明書をお客様へお渡しください。

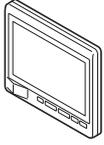
## もくじ

取り付ける前に	構成部品	2
	安全に正しくお使いいただくために	3
	取り付け概要図	5
接続について	システム接続例	6
取り付けについて	後席モニターの取り付け	8

# 構成部品

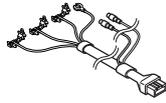
作業前に構成部品が揃っているか確認してください。

## 本体関係



① 後席モニター

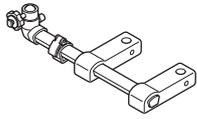
× 1



② 接続コード

× 1

## 取付用部品



③ 取付ブラケット

× 1



④ スペース (10mm用)

× 2



⑤ スペース (13mm用)

× 2



⑥ 固定用クリップ

× 2



⑦ バンドクランプ

× 8



⑧ ハーネス固定テープ

× 3



⑨ コルゲートチューブ

× 1



⑩ 保護テープ

× 1

# 安全に正しくお使いいただくために

この取付説明書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、以下の表示をしています。その表示と内容をよく理解してから本文をお読みください。



## 警告

この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



## 注意

この表示を無視して、誤った取扱をすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

本機取り付けのために必ず守っていただきたいことや、知っておくと便利なことを下記の表示で記載しています。



## アドバイス

本機の故障や破損を防ぐために守っていただきたいこと  
知っておくと便利なこと、知っておいていただきたいこと

## 警告

本機はDC12V ⊖ アース車専用です。大型トラックや寒冷地仕様のディーゼル車などの24V車での使用はしない。火災の原因となります。

本機を、前方の視界を妨げる場所や、ステアリング、シフトレバー、ブレーキペダルなどの運転操作を妨げる場所など運転に支障をきたす場所、同乗者に危険を及ぼす場所などには絶対に取り付けしない。交通事故や怪我の原因となります。

車体に穴をあけて取り付ける場合は、パイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認の上、これらと干渉や接触することがないように注意して行う。火災の原因となります。

車体のボルトやナットを使用して機器の取り付けやアースを取る場合は、ステアリング、ブレーキ系統やタンクなどの保安部品のボルト、ナットは絶対に使用しない。これらを使用しますと、制動不能や発火、事故の原因となります。

取り付け作業前には、必ずバッテリーのマイナス ⊖ 端子をはずす。プラス ⊕ とマイナス ⊖ 経路のショートによる感電や怪我の原因となります。

コード類は、運転操作の妨げとならないよう、テープ等でまとめておく。ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻きつくと事故の原因となり危険です。

本機を分解したり、改造しない。事故、火災、感電の原因となります。

万一、異物が入った、水がかかった、煙りが出る、変な匂いがするなどの異常が起きた場合は、直ちに使用を中止し、必ずお買い上げの販売店に相談する。そのまま使用すると事故、火災、感電の原因となります。

視界や運転の妨げになる場所へは取り付けないでください。交通事故の原因となります。

ドリル等で穴あけ作業をする場合は、ゴーグル等の目を保護するものを使用する。破片などが目に入ったりして怪我や失明の原因となります。

## 注意

本機の取付・配線には、専門技術と経験が必要です。安全のため必ずお買い上げの販売店に依頼してください。誤った配線をした場合、車に重大な支障をきたす場合があります。

必ず付属の部品を指定通り使用してください。指定以外の部品を使用すると、機器内部の部品を損傷したり、しっかりと固定できずに外れることがあり危険です。

しっかりと固定できないところや振動の多いところなどへの取り付けは避けてください。外れて運転の妨げとなり交通事故や怪我の原因となることがあります。

取付説明書で指定された通りに接続してください。正規の接続を行わないと、火災や事故の原因となることがあります。

車体のねじ部分、シートレール等の可動部にコード類をはさみ込まないように配線してください。断線やショートにより、事故や感電、火災の原因となることがあります。

コードが金属部に触れないように配線してください。金属部に接触しコードが破損して火災、感電の原因となることがあります。

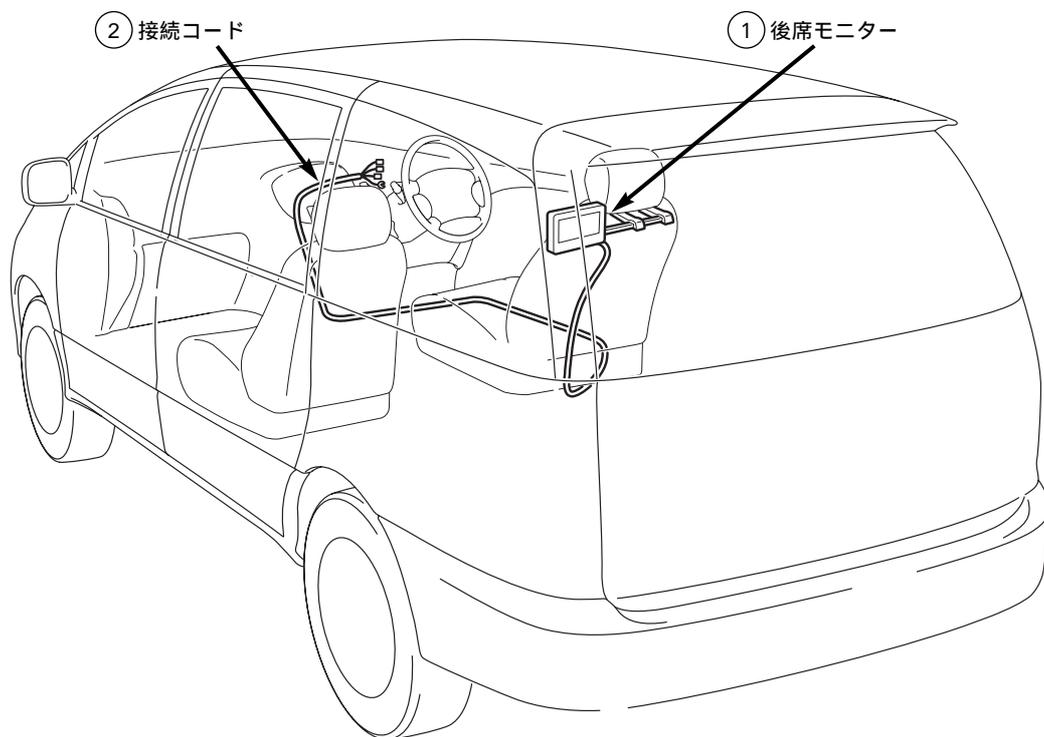
コード類の配線は、高温部を避けて行ってください。コード類が車体の高温部に接触すると被覆が溶けてショートし、火災、感電の原因となることがあります。

本機の取り付け場所変更時は安全のため必ずお買い上げの販売店へ依頼してください。取り外し、取り付けには専門技術が必要です。

本機を車載用として以外は使用しないでください。感電や怪我の原因となることがあります。

# 取り付け概要図

---



# システム接続例

## 警告

電源コードの被覆を切って、他の機器の電源を取ることは絶対に止める。電源コードの電流容量がオーバーし、火災、感電の原因となります。

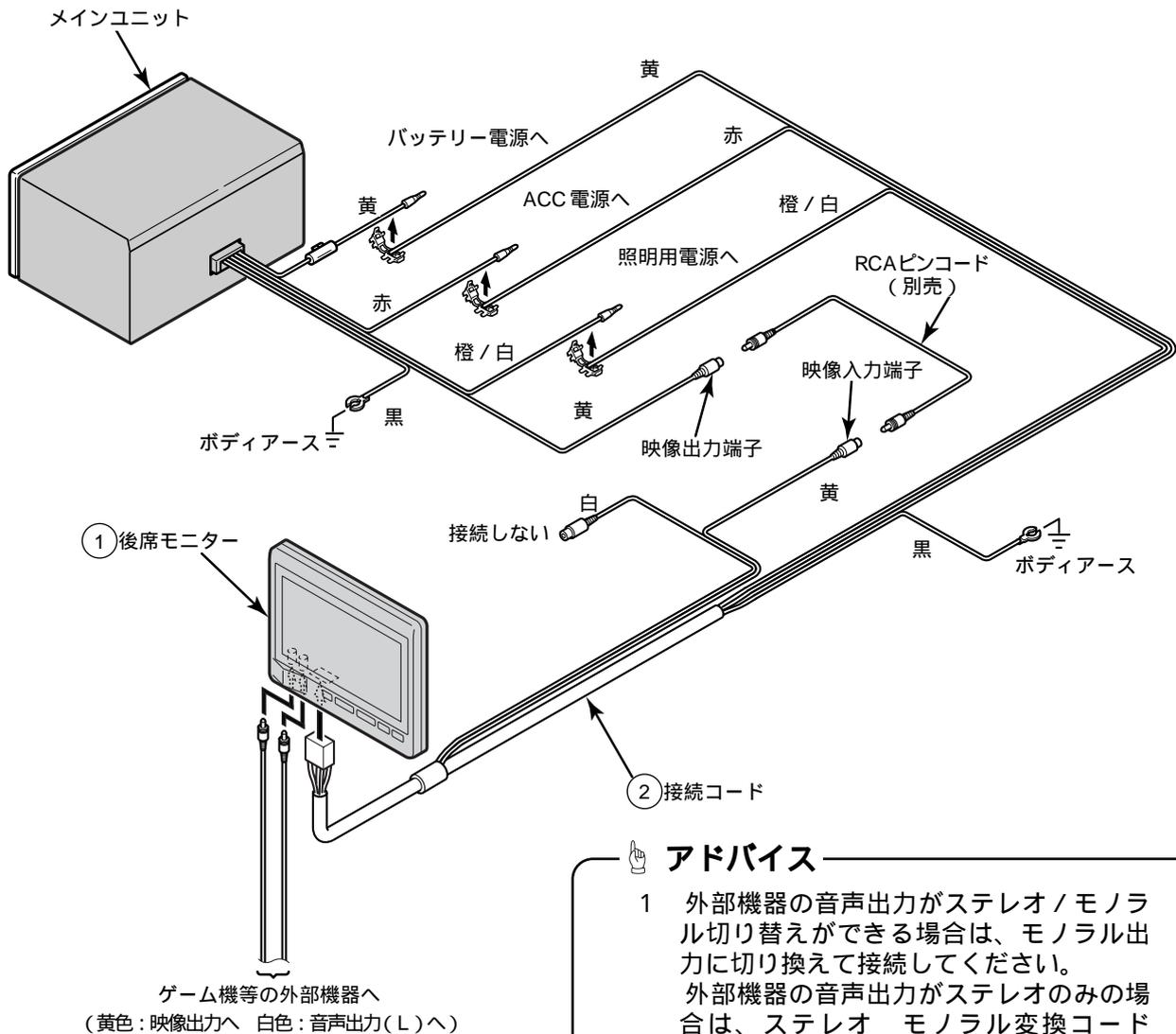
コード類は、運転操作の妨げとならないよう、テープ等でまとめておく。ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと事故の原因となり危険です。

## アドバイス

メインユニットに接続する前に各ユニットの取り付け及び配線を行ってください。

機種によりメインユニットの背面端子が異なります。必ず、接続するメインユニットの取付説明書を参照ください。

### - メインユニットに映像出力端子がある場合 -

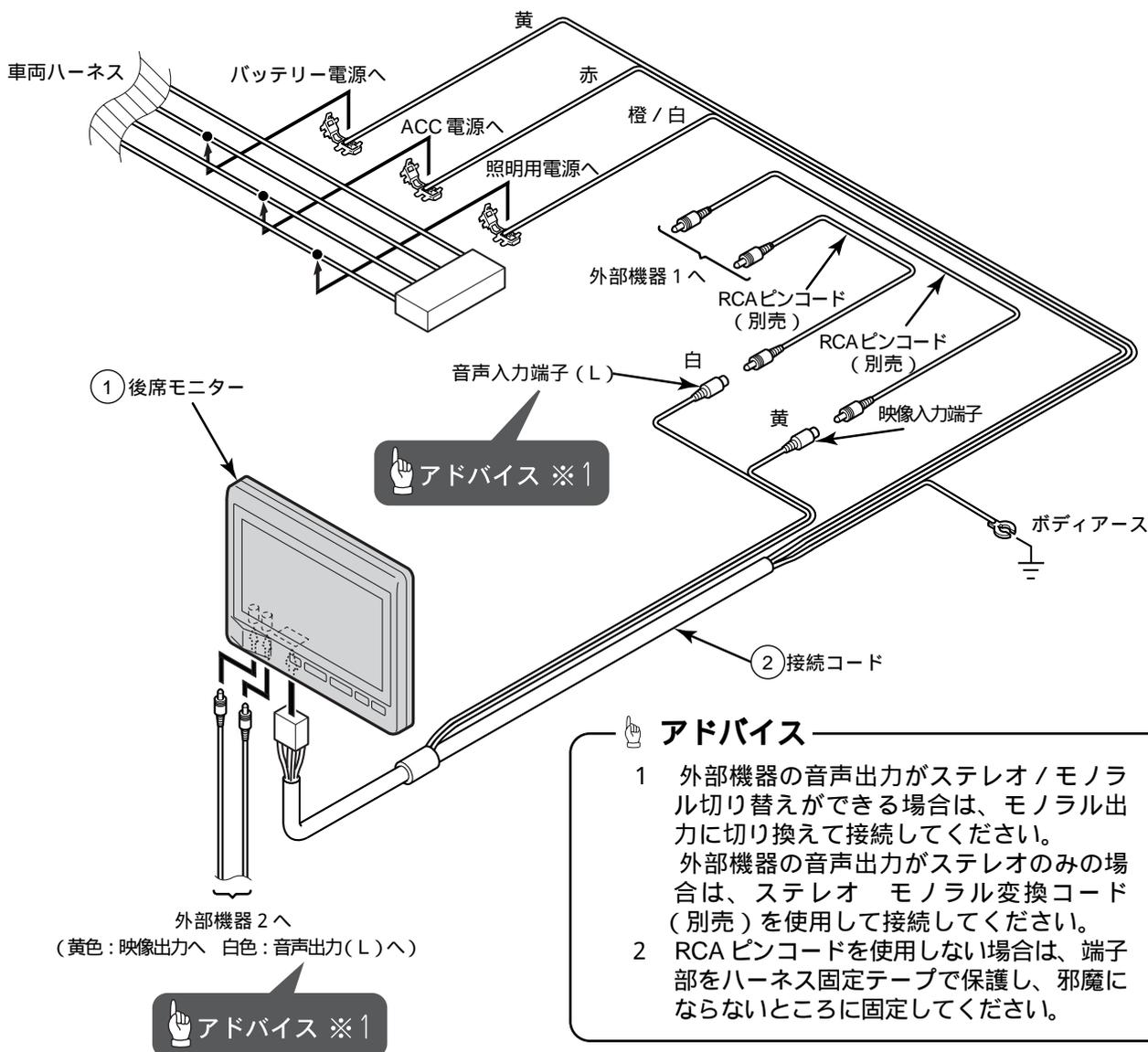


## アドバイス

- 外部機器の音声出力がステレオ/モノラル切り替えができる場合は、モノラル出力に切り換えて接続してください。外部機器の音声出力がステレオのみの場合は、ステレオモノラル変換コード(別売)を使用して接続してください。
- RCAピンコードを使用しない場合は、端子部をハーネス固定テープで保護し、邪魔にならないところに固定してください。

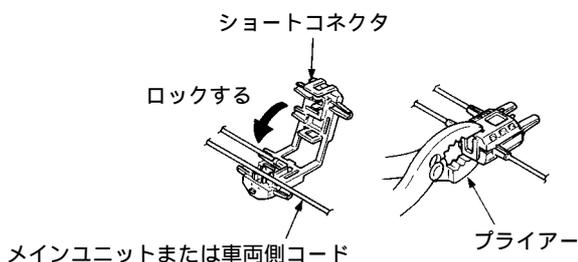
アドバイス ※1

- メインユニットに映像出力端子がない場合 -



- ショートコネクタの使用方法 -

- 1 メインユニットまたは車両側コードにショートコネクタをかみ込ませる。
- 2 プライヤー等でロックがかかるまではさみ込む。



**アドバイス**

車両側コードの被覆がジョイントの邪魔になる場合は、ニッパ等で被覆に切れ込みを入れて作業を行ってください。  
 ショートコネクタ接続後、切り込み部分にテープを巻いて絶縁処理してください。  
 仮止めロックは片側にしかついていないため、本止めのロックが上下合わさるところで「カチッ」と音がするまで確実にプライヤーでロックしてください。  
 取り付け後、車両側コードを軽く引っ張って断線していないことを確認してください。

ショートコネクタ接続後、テープを巻き付けてショートコネクタを保護してください。  
 取り外す場合は、ショートコネクタを付けたまま接続コードを 30mm 残して切り離し、テープ等で絶縁処理してください。  
 ヒンジが折れた場合でも性能に影響がないため使用可能です。

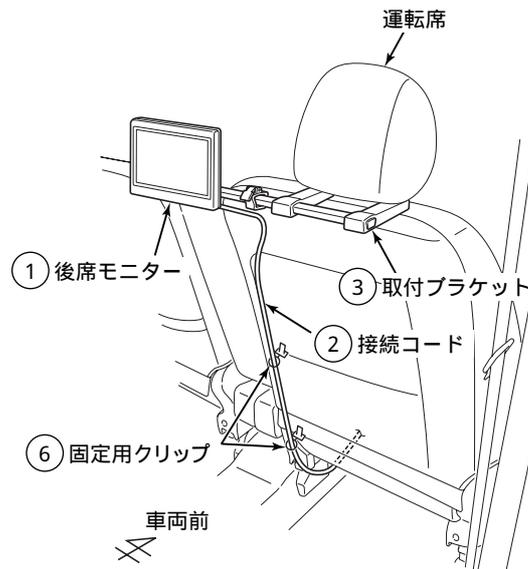
# 後席モニターの取り付け

## 取り付け上のご注意

### 警告

コード類は、運転操作の妨げとならないよう、テープ等でまとめておく。ステアリングやシフトレバー、ブレーキペダルなどに巻き付くと事故の原因となり危険です。  
車体に穴をあけて取り付ける場合は、パイプ類、タンク、電気配線などの位置を確認の上、これらと干渉や接触することがないように注意して行う。火災の原因となります。  
しっかりと固定できないところや振動の多いところなどへの取り付けは避けてください。外れて運転の妨げとなり交通事故や怪我の原因となることがあります。  
車体のねじ部分、シートレール等の可動部にコード類をはさみ込まないように配線してください。断線やショートにより、事故や感電、火災の原因となることがあります。

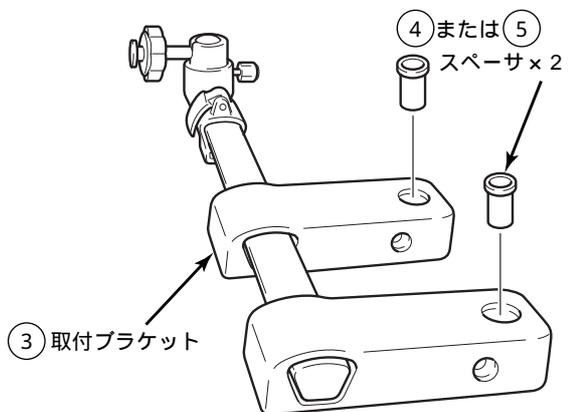
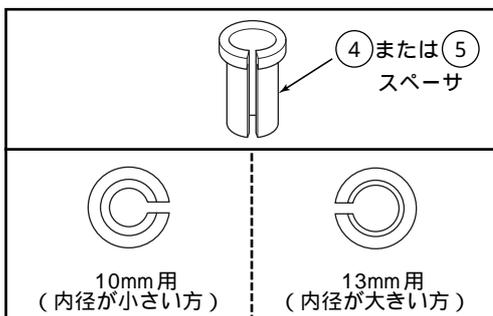
### －取付例－



### 1 取付ブラケットにスペーサを取り付ける。

#### アドバイス

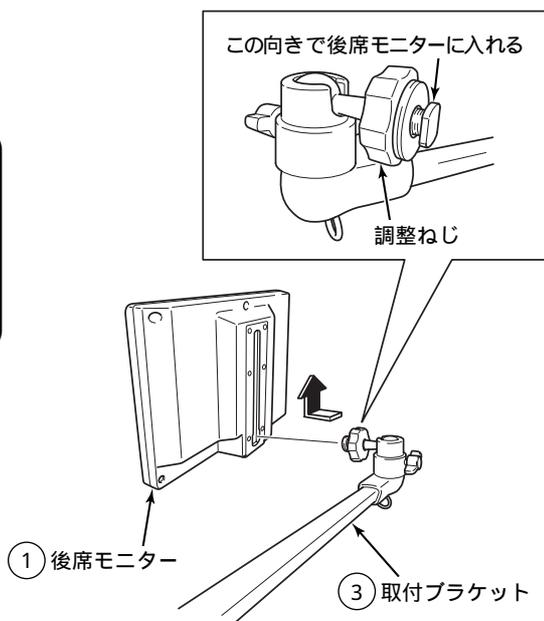
使用するスペーサは車種（ヘッドレストシャフトの径）により異なります。ヘッドレストシャフトの径に合ったスペーサをご使用ください。  
スペーサの内径が小さい方は 10mm 用で、内径が大きい方は 13mm 用です。



**2** 取付ブラケットに後席モニターを取り付ける。

**アドバイス**

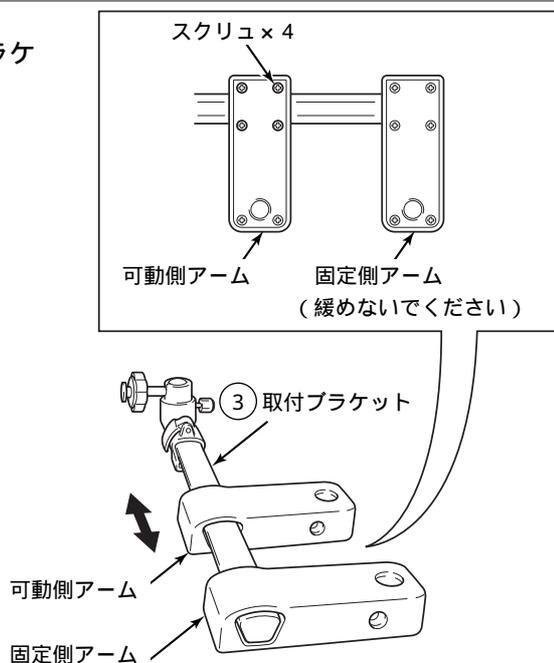
調整ねじを緩めて、後席モニターを取り付け後に調整ねじを締め付けて固定してください。



**3** ヘッドレストシャフトのピッチに合わせて取付ブラケットを調整する。

**アドバイス**

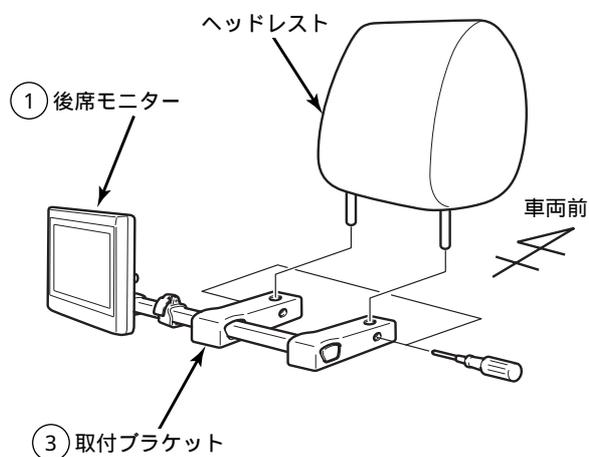
固定側アーム底面のスクリュ（4ヶ所）は緩めないでください。  
可動側アーム底面のスクリュ（4ヶ所）を緩めて、可動側アームをスライドさせながらヘッドレストシャフトのピッチに合わせてください。



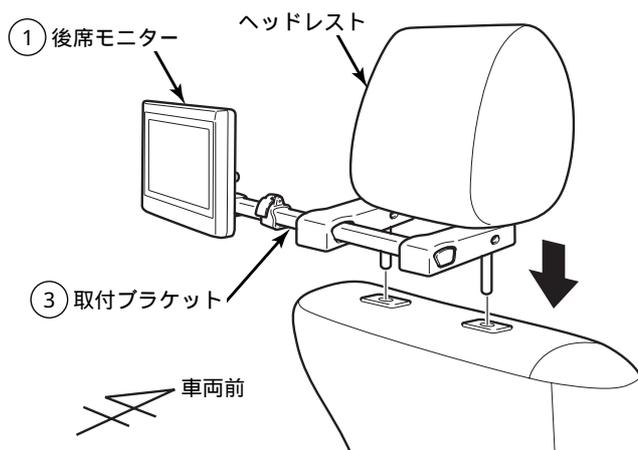
**4** ヘッドレストに取付ブラケットを取り付ける。

**アドバイス**

ヘッドレストに取り付け後、取付ブラケットの締付ボルト（2ヶ所）を締め付けてください。  
ガタつきがないように締付ボルト（2ヶ所）をしっかり締め付けてください。



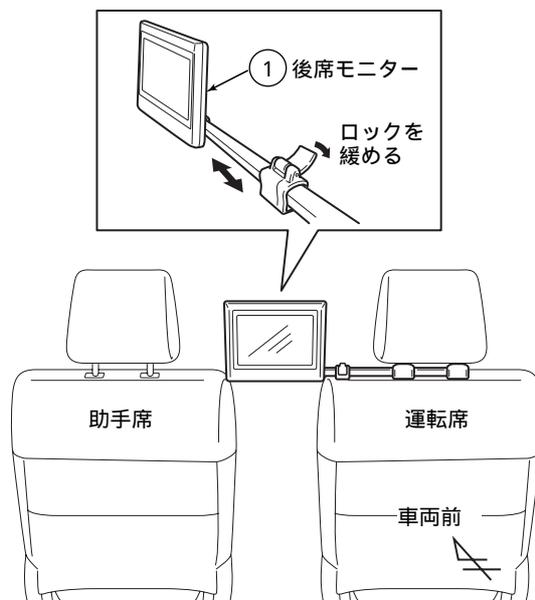
**5** ヘッドレストを元通りに戻す。



**6** ロックを緩めて、後席モニターの位置を調整する。

**アドバイス**

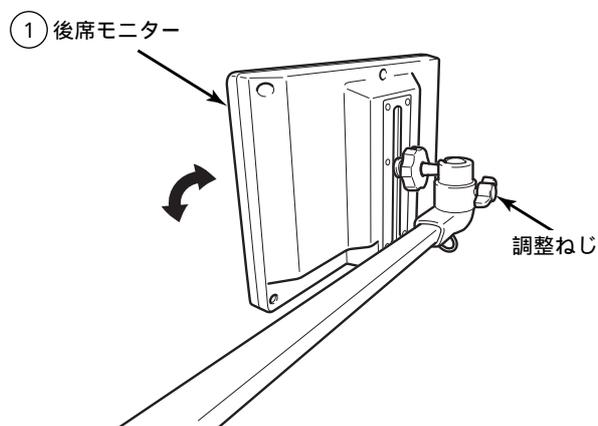
運転席と助手席のシート間のセンターに後席モニターがくるように調整してください。



**7** 後席モニターの向きを調整する。

**アドバイス**

調整ねじを緩め、後席モニターの角度を調整してください。  
調整ねじを締めて固定してください。



- 8 後席モニターに接続コードを接続し、コードガイドに接続コードを通しながら配線する。

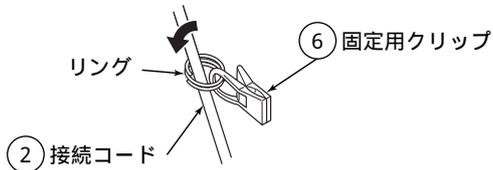
**アドバイス**

コードガイドに接続コードを通す際はコードガイドを無理に曲げたりしないでください。コードガイドを無理に曲げたりした場合、コードガイドが破損する恐れがあります。

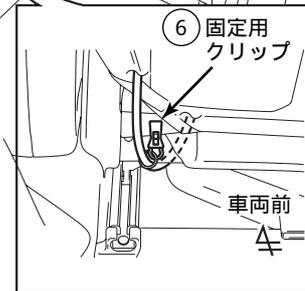
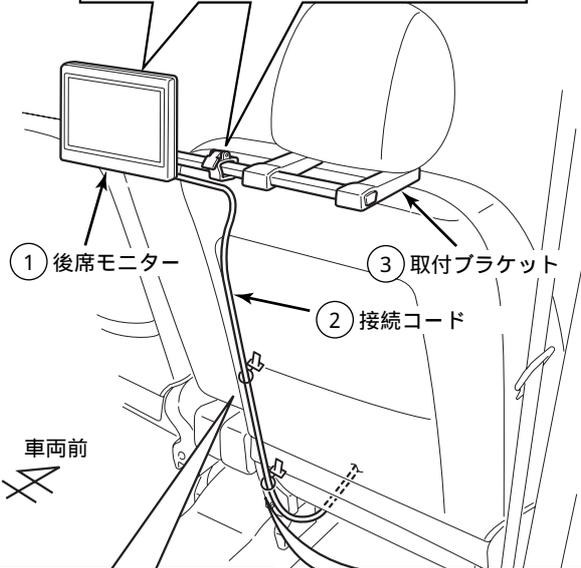
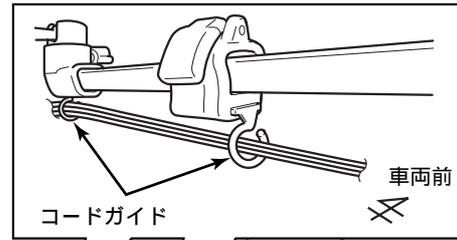
- 9 シートバック背面に接続コード固定用クリップを止めながら配線する。

**アドバイス**

接続コード固定用クリップのリングの先端を広げ、接続コードにリングを回しながら通してください。



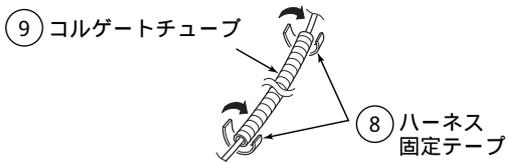
シート形状により固定クリップが固定できないシートがあります。RCAピンコードを使用しない場合は、端子部をハーネス固定テープで保護し、邪魔にならないところに固定してください。



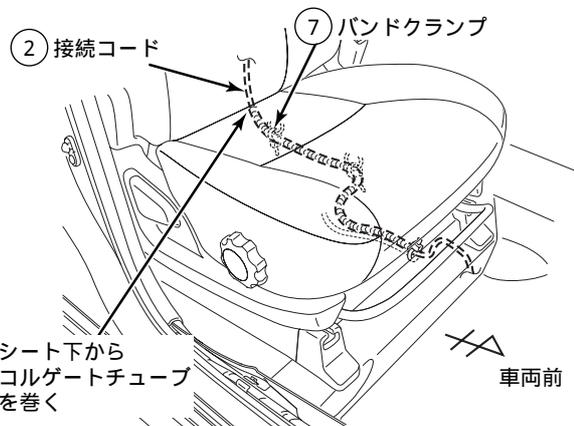
- 10 シートバックを前に倒し、シートポジションを最前方の位置にする。

**アドバイス**

シート下からコルゲートチューブを巻きつけるように位置を調整してから、コルゲートチューブの両端をハーネス固定テープで固定してください。



ハーネス固定テープは、はさみ等で切って使用してください。



 **アドバイス**

右図のシートポジション時、コード長が最長になるので、コードがつかばらないように固定してください。

